

会議議事録

会議名	2019年度第2回福祉分野教育課程編成委員会
開催日時	2020年2月27日(火) 15:00~17:00
場所	本校1階会議室
出席者 (敬称略)	<p>① 企業等委員：入野 豊委員（非営利活動法人大田区介護支援専門員連絡会副理事長）、丸山泰一委員（社会福祉法人池上長寿園統括事業所長）（計2名）</p> <p>② 本校委員：橋本正樹（校長）、岩上由紀子（介護福祉科学科長）、熊谷 崇（介護福祉科教員） 宮下明久（事務局長）（計4名）</p> <p>③ オブザーバー：中嶋純也（介護福祉科教員）、武石稔弘（医療秘書科教員）（計2名）</p> <p>④ 事務局：松本晋圭、土屋瑠美子（参加者合計10名）</p>
欠席者	なし
配付資料	<p>① 事前送付：□資料1：前回委員会議事録、□資料2-1：前回委員会以降の主な経過資料2-2:2019年度就職状況の中間報告 資料3-1:2019年度介護実習の報告、資料3-2：介護福祉事務及び福祉事務管理技能検定の報告、資料3-3：第32回介護福祉士国家試験受験の報告、資料4-1：2019年度教員研修計画・実績、資料4-2：2019年度教員研修報告書、資料4-3：2019年度授業公開における介護福祉科の状況について、資料5-1：2020年度介護福祉科学事日程、資料5-2：2020年度介護実習日程、□資料5-3：2019年度生・2020年度生カリキュラム、資料5-4：2021年度生カリキュラム（案）</p> <p>② 当日配付：□2019年度22期生ケーススタディ集（外部委員のみ） 教育研究第37号（外部委員のみ）</p>
委員長	橋本校長
議題等	<p>1. 校長挨拶</p> <p>新しい修学支援制度である高等教育の一部無償化が4月からスタートし、本校もその対象校として認定された。学校には、教育の質の保証と情報公開、自己点検・自己評価、本日の教育課程編成委員会のような継続的なPDCAサイクルに基づく活動が求められている。</p> <p>一方、福祉や介護の仕事にも、人手不足を解消するための外国人労働者の受入れなど、大きな変化が生まれつつある。委員の皆様には、福祉や介護の仕事の現在及び将来について専門家の視点からご意見をいただくとともに、本校のカリキュラム等へのご提言をいただきたい、との挨拶が行われた。</p> <p>2. 前回委員会議事録の確認（説明者：事務局松本）</p> <p>前回議事録（資料1）について、修正事項がないことを確認し、この後、氏名等の削除等の編集を経て、本校ホームページにアップする旨の発言があり、了承された。</p>

3. 2019年度の活動報告

(1) 前回委員会以降の主な経過（説明者：宮下事務局長、岩上学科長、事務局松本）

資料 2-1～2 に基づき説明が行われ、確認、了承された。詳細は別紙のとおり。

(2) 2019年度の活動報告（説明者：中嶋教員、熊谷教員）

資料 3-1～3 に基づき説明が行われ、確認、了承された。詳細は別紙のとおり。

(3) 2019年度の教員研修に関する報告（説明者：岩上学科長、熊谷委員）

資料 4-1～3 に基づき説明が行われ、確認、了承された。詳細は別紙のとおり。

4. 2020年度の教育活動と学科運営について（説明者：岩上学科長、熊谷教員）

資料 5-1～4 に基づき説明が行われ、確認、了承された。なお、新カリキュラムに絡んで、主に地域共生社会への対応、コミュニケーション力の低い学生への後押し等について意見交換が行われた。詳細は別紙のとおり。

5. 次回日程、その他

次回の開催予定を7月17日（金）15時～17時とすることが確認され、閉会した。

以上

2019 年度第 2 回福祉分野教育課程編成委員会の主な討議内容

3. 2019 年度第 1 回委員会以降の活動報告等について

○岩上学科長より、学科の様子について報告が行われた。

・留学生が多くなったため、大学院生の協力を得て日本語支援講座を設置した。学生からの希望により、後期はフィールドワークなどを取り入れた。

(1) 前回委員会以降の主な経過 (資料 2-1、2-2)

(2) 2019 年度の活動報告

◇2019 年度介護実習の報告 (資料 3-1)

○中嶋教員より、以下の説明が行われた。

・実習Ⅳは在宅介護で、訪問介護を中心に夏休みに 4 日間が実施する。

・実習Ⅲは介護過程の展開も含めた総合的な実習を実施した。実習の集大成がケーススタディ集としてまとめられ、12 月に発表会が行われた。

・実習Ⅱは、2 月から実施してきたが、コロナウイルスの影響により打ち切りとなった。

◇介護福祉事務及び福祉事務管理技能検定の報告 (資料 3-2)

○熊谷教員より、以下の説明が行われた。

・本検定は受検者の減少により廃止となる。次年度以降は介護事務管理士検定となるが、難易度や検定料が上がるので、受験は任意と考えている。

◇第 32 回介護福祉士国家試験受験の報告 (資料 3-3)

○企業等委員からの質問・意見等と回答等は次のとおり。

①第 32 回介護福祉士国家試験について

質問・意見等	回答等
留学生向けに特段の受検対策をしたのか。	特にしていない。模擬試験の結果を見ても、日本人と留学生で差はなかった。
社会の理解と障害の理解が伸びていないが、あとはピークに持っていつているので、うまいやり方だと思う。	例年どおり、後期の介護福祉ゼミの中で国家試験対策を入れ、その他に外部講師を招いて直前の対策講座を行った。 全体ではそうだが、かなり個人差がある。

(3) 2019 年度の教員研修に関する報告

◇2019 年度教員研修計画・実績 (資料 4-1)

◇2019 年度教員研修報告書 (資料 4-2)

◇2019 年度授業公開における介護福祉科の状況について (資料 4-3)

○いずれも特段の補足説明、質疑、意見はなかった。

4. 2020年度の教育活動と学科運営について

◇2020年度介護福祉科学事日程及び介護実習日程（資料5-1、5-2）

○熊谷教員より、以下の補足説明が行われた。

・2020年度から開始される新修学支援制度とオリンピックの関係で、次年度はかなり変則的な日程になっている。

◇2019年度生・2020年度生カリキュラム（資料5-3）

◇2021年度生カリキュラム（新カリキュラム）について（資料5-4）

○岩上学科長より、現行のカリキュラムと新カリキュラムについて補足説明が行われた。

・「人間関係とコミュニケーション」は30時間から60時間に増え、「リスクマネジメント」は廃止した。

・現行の「介護の基本Ⅲ」を、ⅢとⅣに分け、「介護の基本Ⅳ」はⅤとした。「介護の基本Ⅲ」は、レクリエーション介護士の受検もできる内容になっている。

・「生活支援技術Ⅱ」はⅡとⅢに分け、Ⅱは在宅の生活支援、介護予防や福祉用具、多職種の連携などを内容とするものとした。

・廃止になった介護福祉事務に代わる科目については、今後の介護は地域と密接に関係してくることから、地域との交流、ボランティアを織り込むのも一つの方法かと考えている。

○企業等委員からの質問・意見等と回答等は次のとおり。

質問・意見等	回答等
<p>これからの介護福祉分野は「地域共生社会の実現」が課題として出ているが、8050や虐待などの問題は含まれているか。</p>	<p>虐待については、「介護の基本」で概要を伝えている。</p>
<p>事例検討は入っているか。</p>	<p>国家試験対策の一環として虐待の種類、現状など表面的な部分には触れているが、事例検討はしていない。</p>
<p>特養は特養の職員だけで完結する形だが、地域にはそれだけでは解決できない部分が多くある。それをどこでやるかだと思ふ。</p>	<p>関連科目として空いている枠には、今の若い人たちのニーズに応える内容も考えていきたい。昨年、地域の人を交えた餅つきや江戸建物館へ行く等の授業を考えたが、実現できなかった。</p>
<p>医療と介護だけでは解決しないことに気づくことは大きな収穫になる。</p>	<p>コミュニケーションが苦手な学生も自分なりに成長し、職業人として貢献できるようにしたい。地域の中で学びのポイントを見つけ、興味を持たせた部分を伸ばしていくような導入プログラムを作っているので、来年度やってみるとよい。</p>
<p>学生の傾向が変わってきて、国家試験対策でも、今は勉強の方法から教えなくてはならない。介護人材が少なくなる中で、何か本校の特色を出して、募集に生かせるとよいと考えている。</p>	<p>私も教える立場にいたことがあるが、学生時代に挫折を経験した子が介護に来る傾向があった。自分自身を見つめるプログラムを用意するなど、丁寧に面倒を見ることを売りにするとよいので</p>

<p>地域との関わりについては、カリキュラムに入れる方法と、試験的にやってみる方法もあると思う。</p> <p>優秀な学生を集めるのは難しい。</p> <p>今までの話をカリキュラムにどう反映させたらよいか。</p> <p>施設の実地指導・監督をしているが、相変わらず虐待が多かったり、虐待への認識が薄い。養成校の段階でその辺の教育をしっかりとできないものかと思う。</p>	<p>はないか。</p> <p>科目として入れる前に、まずは彼らの目線に立って、後押しすることが必要。自分の価値を見出し、自信を持たせる中で、伸びしろをつくっていないと教育自体が成り立たない。</p> <p>リーダーになれそうな優秀な留学生もいるが、厳しい人もそれなりに職業人として成り立つようにするのが教育の役目だと思う。</p> <p>新設される「人間関係とコミュニケーションⅡ」は、リーダーシップがとれる人材を育成することを目指しているが、現状では学生の差が出てくると思われる。</p> <p>新しい科目をつくるなら、柔軟性のある科目がよいと感じている。</p> <p>自治体とタイアップして、福祉フェスなどに学生が企画・立案の段階から携わっていくことを授業の一環としてやると面白い。</p> <p>そこにはすべての介護事業者が入ってくるので、面白いと思う。</p>
---	--

5. 次回日程、その他

○岩上学科長より次回日程についてお諮りし、7月17日(金)午後3時から5時とすることに決定した。

以上